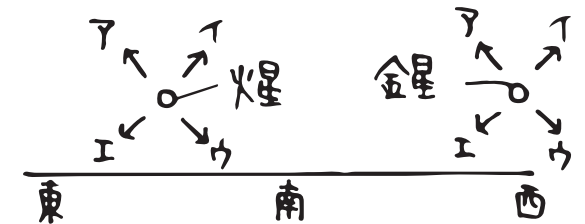


# 高校受験対策・理科

- ⑥ 群馬県のある地点で、7月中旬の午後8時に火星と金星を観測したところ、火星が南東の空に、金星が西の空に見えた。図Iは観測した際のそれぞれの見えた位置を、図IIは金星、地球、火星のそれぞれの公転軌道と観測した日の地球の位置を、それぞれ模式的に示したものである。次の問いに答えなさい。

&lt;図I&gt;



- ① 地球型惑星を、次のア～エからすべて選べなさい。

ア 火星    イ 水星    ウ 木星    エ 金星

- ② 同じ日の午後9時にもう一度観測したところ、火星と金星の見える位置が移動していた。火星と金星の見える位置は、図Iのア～エのどの方向に移動していたか、それぞれ選べなさい。

- ③ この日の金星の位置として最も適切なものを、図IIのa～dから選べなさい。

- ④ 地球と火星が最も接近した日の、群馬県における火星の見え方として最も適切なものを、次のア～エから選べなさい。

ア 夕方に西の空に見える。    イ 真夜中に真南の空に見える。    ウ 真夜中に東の空に見える。    エ 夕方に真南の空に見える。

&lt;図II&gt;

